

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第 208 号
241004

9月の遊学の森のようす



下旬の高丸山です。ススキが穂を出し、葉っぱの色も少しづつあせてきています。



コハウチワカエデが枝を伸ばして、トンネルを作っています。紅葉時期はきれいだろうなあ。



ボランティアグループのランニングクラブ順風です。雨を上手に避けて森づくりしてくれました。



遊学の森のモニタリングを行いました。雨と曇天の中の活動でした。



今年はネナシカズラをよく見かけます。地面に根っこがついておらず、不思議な植物です。



9月中旬ごろからやっとキノコが出始めました。いろんな形、大きさなど多様で面白いです。

■森づくり活動など報告

●活動期間 9月1日～30日

区画管理	日付	被害箇所	内容
獣害被害防除 ネット修復	9月 8日 29日	0か所 5か所	森づくり区画の外周を囲うネットの見回りと、被害報告です。 今月のネットの修繕は5か所でした。今回はネットが大きくかみ切られていたり、シカがネットに絡まっていたりなど、数は少ないのですが、修繕は大きく行うことがありました。来月は被害が少ないことを願っています。
活動名	日付	団体名	内容
ボランティア 森づくり	24日	ランニング クラブ順風	ボランティア29団体による森づくり活動でした。朝から雨が降り、雨天での作業かと覚悟したのですが、作業中は何と晴れ間が見えるくらいの天気！山が助けてくれました。 作業は草刈りがメインでした。区画の作業が早めに終了したので、30番区画の草刈りも行ってくれました。ありがとうございました！
遊学の森モニタリング体験	30日	一般ボラン ティア	区画で植樹木の残存数を調べる活動です。参加者は、兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科の学生さん達でした。悪天候の中、木をカウントしてくれました。



■トピックス

●実もつき、虫こぶもつく、秋の木々

今月は暑い日が続き、秋の到来を待ち続け、ようやく秋らしく感じ始めたのが、台風通過後でした。涼しい風にほっとしつつ、ボランティア活動の森づくりやモニタリングが行われました（写真上段左右）。森の木々も実をつけはじめました。暑さでちゃんと結実するのか心配していたのですが、うまくいったようです。その実や枝に小さなハチやアブラムシによって作られる虫こぶも確認（写真下段）。他にもキノコ類があちこちで見られたり、秋の山らしくなっています。



モニタリングの前後で、植物観察をしていました。とても熱心でした。



黄色いテープがカウントした樹木になります。無事終了しました。



ノリウツギミフクレフシという虫こぶがついた、ノリウツギの実です。



ナルデの木についた虫こぶです。五倍子といいますが、面白い形になっていました



イタドリの種です。よく見ると白い羽状で、とてもきれいです。

徳島県立高丸山 千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）
〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 E-mail：sennennomori@kkcatv.jp
※本紙は、千年の森 HP にフルカラーでアップしています <http://www.1000nen.biz-awa.jp>